

The 2 Chome Times 2024年 7月号

NO1のプレミアムストリートをめざして

NO314号


2024年・7月・25日



発行 神戸三宮センター街2丁目商店街振興組合 (tel331-3091) (fax333-8591)

2丁目タイムス 7月号

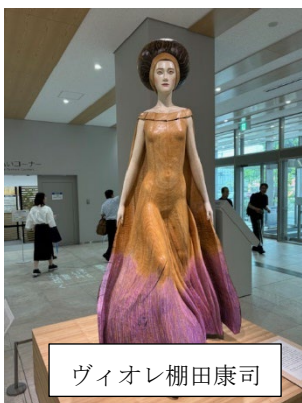
編集：企画・商業振興部、編集長：井上晶雄 <http://www.centergai2.com> E-mail:centergai2@nifty.com

 フェイスブックでも発信しています <https://www.facebook.com/centergai2/>

 2丁目目でKOBE Free Wi-Fi ご利用いただけます

★隈研吾建築作品視察報告

6月28日(金)に隈研吾建築作品視察研修ツアーがあり、伊丹市役所から始まり、京都造形芸術大学至



ヴィオレ 棚田康司

誠館や新風館、朝日放送社屋など、全て隈研吾氏が設計・監修した建物、7箇所を視察・見学してきました。それぞれの建物にはもちろん隈さんが抱かれているコンセプト(素人の私が述べるのは失礼ですのでここでは触れませんが)を感じる事が出来ました。幾つか印象に残った点をご紹介します。



最初の伊丹市役所では隈氏も一緒に取り組まれた「クスノキプロジェクト」が興味深く感じられました。旧庁舎時代に樹齢50年程になる楠が30程あり、そ

こに新庁舎を建てるため、一本を残し全て伐採されるため、その木を使って作品を創り、新庁舎に設置するというものでした。それは想像するよりも困難で、車の排気ガスにまみれ、ビル風などの風圧を受けて歪んで伸び、節が多くあり、粉塵や砂が食い込んでしまっているせいで、鑿(ノミ)や刃物の刃先が面白いように欠けたそうです。他の建造物でも立地や既存の建物の特徴が最大限に活用されており、「モダンさ」の中に「落ち着き」もあり、そして自然の或いは人工的な緑が豊富に取り入れられており、心が癒されるものでした。最後に訪れた大阪新歌舞伎座の跡地に旧建物の外観を残しつつ再生されたホテルロイヤルクラシック大阪では担当の前田課長様がお忙しい中をホテルの内部まで懇切丁寧にご紹介下さり、感謝の言葉しかありませんでした。今回の日帰り研修ツアーでお世話になった皆様には心からお礼申し上げます。



エースホテル京都 新風館

★沖縄慰霊の日 沖縄全戦没者追悼式・石垣市全戦没者追悼式

太平洋戦争が終結して、今年で79年目になります。6月23日(日)午前11時50分、糸満市摩文仁の平



和祈念公園で沖縄全戦没者追悼式が執り行われ、久利会長をはじめ街創り協議会のメンバー4人で出席させて頂きました。当日は湿気を帯びた風を少し感じながら、晴天の中、玉城沖縄県知事の平和宣言、岸田総理はじめ両議員長の挨拶へと進み、宮古高校3年の仲間友佑さんが心を込めて平和の詩「これから」を朗読してくれました。仲間さんの「今年もこの6月23日を平和のために生きている その素晴らしさを噛みしめながら」の声に、参列者の多くが心の中で頷いたのではな

いでしょうか。追悼式終了後、引き続き兵庫県出身で最後の官選知事であった島田勲氏の慰霊の碑がある摩文仁に向かい、その「島守の塔」で行われた慰霊祭に参列し黙祷をささげ、その後直ぐに那覇空港に急行し石垣島に向かいました。飛行機の遅延はありましたが、石垣市のスタッフの方々の協力もあり、16時

からの石垣市全戦没者追悼式には遅れずに参列する事ができました。戦争末期、八重山諸島でマラリア有病地帯に避難を強いられた結果、3600名余りの尊い命が犠牲となった「戦争マラリア」の過去がありました。「平和の歌ごえ」として、いしがき少年少女合唱団による「月桃」「ふるさと」が合唱され、参列された方は、改めてその恐ろしさを知り、その歴史と命の尊さを後世に伝えることの重要性を感じられたのではないのでしょうか。今回の慰霊式参列は「大切な追悼式のために」が唯一の目的であり、摩文仁 → 那覇から石垣島 → 那覇に戻り、即神戸に帰還するといったハードなスケジュールを1日で遂行しました。この思いは十分に沖縄の関係者、石垣島の方々に伝わったはずですが、「KOBE 夢・未来号・沖縄プロジェクト」で沖縄へ行く、神戸の、日本のこれからの未来を担っていく子供さん達にも、沖縄の素晴らしい自然だけではなく沖縄戦の歴史的事実について、今後も継続して学んで頂きたいと思いました。



★速報！限研吾講演会・シンポジウム無事開催 配信動画も公開しています

7月13日 建築家 限研吾さんをお迎えして講演会・シンポジウムを開催しました。ご参加の皆さんからも



大変大きな反響、ご好評を頂き、無事終了することができました。参加定員200名のところ、1300名を超えるご応募があり、関係者席を開放して参加者席を240席に増やしましたが、それでも落選された方も沢山いらっしゃるといことで、急遽インターネット動画配信も実施しました。配信動画は現在もご覧いただけるようになっており、開催後も沢山



配信動画はこちらのQRコードからご覧いただけます

の方に見ていただいています。ぜひご覧になって下さい。

なお、講演会・シンポジウムの詳細は号外でお知らせできるように現在鋭意準備

中です。お楽しみに！ 配信動画 URL <https://www.youtube.com/live/kfJINnxurvM?feature=shared>

★編集後記

今回、本島で参列した沖縄慰霊祭と同じく石垣島での慰霊祭に久利会長以下数名が日帰りという強硬スケジュールで参列しました。沖縄戦では全ての犠牲者を合わせると約20万人の方々が犠牲になっていま



す。その中には記事にもあった様に沖縄本島から石垣島に軍によって強制的に疎開させられた女性や子供さん達が含まれており、マラリアの罹患者は1万6千人余りにも上りました。その他にもふるさと石垣



島から最初に特攻隊員として出撃し、命を落とした伊舎堂用久（いしゃどう・ようきゅう）中佐と隊員の顕彰碑が南ぬ浜町（ばいぬはまちょう）緑地公園内にあります。私達には想像すら出来ない想いで戦われた方々には心の中でお掛けする言葉もありません。忘れてならないのは米兵も1万2千人以上が亡くなっています。もうすぐ戦後79年になりますが、こういった悲しい歴史的事実は決して忘れてはならないと深く感じました。



美しい街 共に歩む ビルメンテナンス

つるかめ管財株式会社 078-371-3589

